

東北工業大学平成22年度「生活デザインセミナーⅣ」

製品安全社会の実現にむけて



JTDNA

内閣府認証 NPO 法人 日本テクニカルデザイナーズ協会

なぜ製品事故がおきるのか

- ①製品の欠陥
- ②維持管理上の不備
- ③誤使用

原因を考える。

①製品に欠陥があった場合

- 設計上の欠陥
- 製造上の欠陥
- 指示・警告（表示）上の欠陥

原因を考える。

②維持管理上の不備

- **技術的な手落ち**
- **放置などによるもの**
- **安全上の配慮の欠落**

原因を考える。

③ 誤使用によるもの

- 誤った広告イメージなど。
- 正しい使い方を知らなかった。
- 設計寿命を過ぎて使った。

誤使用を無くすには・・・

- 正しい広告を見極める。
- 正しい使い方のわかるものを使う。
- 寿命のわかるものを使う。

良いものを見極める！

- 質の悪い説明書のもものは買わない。
- 成績を誇張するものは買わない。
- 素性のわからない店では買わない。

事故を予見する知恵を！

性能の良いものほど気をつける。

- 使う人や環境に見合っている事。
- 説明書を良く読む。
- 異常な音やにおい、変形などに注意する。

事故が起きたら・・・

- **被害者救済を最優先する。**
- **正しい手順で損害請求する。**
- **自己責任を相手に転嫁しない。**

製品事故は自動車事故と同じに過失割合が働きます。勝手な判断をせず専門家に相談してください。